

(様式3)

自己評価及び外部評価結果

作成日 平成23年4月14日

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	0873900724		
法人名	有限会社 万葉		
事業所名	グループホーム ゆうもあ館	ユニット名	すずらん
所在地	〒315-0153 茨城県石岡市下青柳948-2		
自己評価作成日	平成22年9月28日	評価結果 市町村受理日	平成23年4月11日

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報	茨城県福祉サービス振興会のホームページ「介護サービス情報検索」から情報が得られます。
------	--

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	社会福祉法人茨城県社会福祉協議会		
所在地	〒310-8586 水戸市千波町1918番地 茨城県総合福祉会館内		
訪問調査日	平成22年11月24日	評価確定日	平成23年3月30日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点（事業所記入）】

<p>柵や塀を作らず、木々の緑に囲まれる環境。自家菜園の新鮮な野菜や、外出を多く取り入れ楽しみある生活の提供に努めている。</p>

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

<p>「自分の親を入れてもいいと思えるような介護事業所を作りたい」という代表者の思いで立ち上げた事業所である。 代表者や職員は、「豊かな自然を味方にし、わがままなほどの自由さと、それを見守りかばい合うケアをもって、利用者は穏やかさを取り戻せる」という信念をもって、恵まれた自然環境の中で、家族等や地域住民、医療関係者とチームワークを組んで利用者の支援にあたっている。 その結果、利用者の徘徊が無くなるなど着実に効果を上げている。</p>
--

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	毎朝唱和している。	「住み慣れた地域・環境」などのキーワードが入った理念を掲げている。 理念を居間に掲示するとともに、毎朝の申し送り時に唱和している。 理念の具体的な取り組みとして、利用者が恵まれた自然環境の中で、自分らしい生活ができるように支援している。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	南中学校の演奏会や小学生の校外学習の受け入れを行っている。ボランティアさんによる日舞を定期的で開催している。	事業所が実施する漬物教室や納涼祭のチラシを、地域の方に配布して参加を呼びかけている。 地域のボランティアグループや小・中学生が事業所を訪問し、利用者との交流を深めている。 利用者が散歩中に近所に立ち寄ってお茶をごちそうになったり、地域住民から野菜や果物の差し入れがある。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	地域の方々より相談を受ける機会が増えてきている。社会資源の紹介や介護保険について説明している。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	ほぼ2ヶ月に1度開催している。報告や意見交換を行っている。	市職員が参加する運営推進会議を2ヶ月に1回開催し、外部評価結果や利用者の状況、新任職員の感想などを報告している。 会議において、出席者からの積極的な発言が少ないこともあり、議事録には具体的な発言内容が記載されていない。	サービス向上などに対する積極的な提言への働きかけとともに、席上での発言内容を記録として残し、次の会議につなげていくことが望まれる。

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	市町村担当者には、運営推進会議や行事に参加して頂き取組を伝えている。電話や訪問などで連絡を取り事業所の空き情報を伝えたり、ケアサービスの取組みを相談している。	代表者が頻回に市担当者を訪問し事業所の運営について相談している。 市担当者が事業所行事に参加した際に、事業所の取組みを伝えるとともに、利用者の受け入れや退居などについて相談している。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束の研修を行った。全職員が身体拘束の内容とその弊害を理解し、玄関の施錠を含め身体拘束は一切していない。	職員は年1回実施する、身体拘束廃止に関する研修により、身体拘束の弊害について理解している。 身体拘束廃止についてのポスターを玄関に掲示している。 玄関にセンサーを設置するとともに、利用者が徘徊しそうな場合には同行するなど、身体拘束をしないケアを実践している。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	研修を行っている。職員休憩室に虐待について具体的に記載のある内容を掲載している。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	必要であると思われる利用者、ご家族には説明をおこなっている。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約内容については、十分に時間を取り丁寧に説明を行っている。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	納涼祭の時に家族会を発足した。	家族等が来訪した際には、お茶を飲みながら気軽に相談してもらえるような雰囲気づくりに努めている。 来訪できない家族等に対しては、事業所便りを送付する際に利用者の状況を書面で伝えるとともに、意見や要望を出してもらえるように働きかけている。 家族等から「最期まで、看てもらえるのか」などの意見に対して、終末期や重度化に向けた事業所の対応方針を伝え不安を解消している。	
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	代表者と職員との間では、気づきメモを活用して職員の意見や提案をくみ上げている。また、月1度職員会議を行い意見や情報の交換を行っている。	「気づきメモ」という用紙により職員が代表者や管理者に積極的に意見や提案を述べるような仕組みを設けている。 申し送り時の職員の意見や「気づきメモ」で出た意見等を取り入れ、ウッドデッキを設置するなど改善を図っている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	万葉評価表を作成し職員一人ひとりの努力や功績を評価している。やりがいがあるように項目ごとに金額を決め支給している。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	内部、外部研修に参加できる機会を作っている。また、業務中にも技術、知識を伝えるようにしている。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	近隣のグループホームと交換研修をおこなっている。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	見学は随時受け付けしている。体験入居も行っている。サービス利用前でも、不安や要望等がある時には、いつでも相談に乗れるよう配慮している。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	見学は随時受け付けしている。入所時に困っていることや不安なことを聞き安心して生活ができるよう支援している。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	既往歴や入所申込の際、身体状況や家庭環境等により必要な関係機関との連携をとっている。入居につなげられない場合は、他のサービスの説明と調整をおこなっている。ご家族との連絡を密にしながら、新しい環境に慣れて頂けるよう支援している。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	信頼関係を築き、共に学び共に成長して行けるよう対応している。		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	ご家族の方と、ご本人の気持ちを尊重しながら共に考え、支えていけるよう対応している。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	利用開始時に利用者やご家族の意見や要望を伺い、これまでの生活が継続できるよう支援している。	家族等の承諾を得ながら、利用者の馴染みの人に「いつでも来訪ください」ということを伝えている。 「墓参りしたい」などの利用者の思いを家族等に伝えたり、職員はできる範囲で付き添い、利用者が馴染みの場所に出かけられるよう支援している。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	利用者同士の人間関係の把握に努め、外出の支援を行っている。集団行動を好まない方に対しては孤立することがないように声掛けを行っている。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	転居の際、介護サマリー等を作成し、ホームでの生活を伝えている。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	入居の際に生活歴を把握し、日々の行動や会話から得た情報を加えて記録し、職員で共有している。困難な場合は、行動や表情ご家族や関係者から情報を集め把握に努めている。	利用開始時に家庭を訪問し、利用者や家族等から生活歴のほかに思いや意向を聴き取り、アセスメントシートに記録している。 日々の生活の中で把握した思いや意向を、「気づきノート」に記入するとともに、アセスメントシートに追記して全職員で共有している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	これまでの生活歴は、ご本人とご家族から伺い把握している。折にふれご本人に伺ったり、来訪時に伺っている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	利用者一人ひとりの生活のリズムを把握できるよう職員間で情報の共有をしている。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	介護計画は利用者やご家族等の意見や希望を聞き、職員で話し合い、定期的には直しをしている。	介護計画は家族等の要望や医療関係者の意見等を踏まえて、職員で利用者のニーズや課題について話し合い、計画作成担当者を中心に作成している。 写経や塗り絵、食事準備など利用者の力を発揮できるような目標を設定している。 モニタリング及び評価に基づいて、3ヶ月毎に介護計画を見直している。 終末期ケアも含め、利用者の心身の状態に変化が生じた場合は、随時介護計画を見直している。	

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個別の介護記録の他に、利用者の情報を職員間で共有できるノートを作っている。実施状況に問題がある場合は、担当者会議を開き介護計画を見直している。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々にも生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	外泊、外出の支援、通院介助、ご家族来訪時の送迎など状況や希望に応じて支援している。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	ボランティアさんによる健康体操や小中校の生徒さんとの交流を行っている。運営推進会議で、民生委員さんや区長さんからご意見、ご指導を頂いている。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	かかりつけ医は基本的に個人の希望に添って決めている。週1回協力医療機関の往診と訪問看護があり、利用者の健康管理を支援している。	利用前からのかかりつけ医への受診を基本としており、家族等が付き添う場合でも職員が利用者の状況を記録したファイルを持って同行し、医師に普段の状況を伝えている。 利用者の状態に応じて、精神科や歯科など専門医への受診を支援している。	
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	週1回訪問看護を受け、健康管理を行っている。主治医の診察内容の報告、日々の様子や変化について相談、指導を受けている。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院患者が出た場合にそなえ、医療関係者へ連携をお願いしている。病院等で行われる研修へ参加している。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	重度化した場合や終末期の方針を明文化して契約時に利用者やご家族等に説明するとともに確認を得ている。	契約時に「急変時対応希望書」を作成し、急変時の対応について利用者や家族等の意向を確認している。「重度化対応・終末期ケア対応方針」に基づき、状態変化に応じて介護計画を見直したり家族等と話し合うなど、揺れ動く家族等の意向に寄り添いながらケアしている。協力医療機関や訪問看護ステーションと24時間の医療連携体制を築いている。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	応急手当のマニュアルをいつでも職員が読めるようにしてある。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	避難訓練を定期的に行っている。	年2回、夜間想定を含む避難訓練を実施しているが、訓練結果を記録するまでには至っていない。地域の消防団や近隣住民に災害時における協力体制の構築や避難訓練への参加を呼びかけているが実現するまでには至っていない。	避難訓練で明らかになった課題を記録するとともに、改善に向けて取り組むことが望まれる。災害時に備え地域との協力体制を構築するとともに、消防団や近隣住民に避難訓練への参加を働きかけることが望まれる。

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	トイレ、入浴などは羞恥心に配慮した声掛けを行っている。利用者一人ひとりに合わせた言葉かけを心がけている。	排泄誘導の際に、あからさまに大きな声で呼びかけをしないなどプライバシーに配慮している。 個人情報のファイルは、鍵がかかるロッカーなど、人目に触れない場所に保管するまでには至っていない。	個人情報保護に関する研修を通して、個人情報の管理体制について話し合うことを期待する。
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	日常生活の中で、本人に決めてもらえる場面や環境、興味を持ちそうなことを考えながらケアを行っている。意思疎通が困難な利用者に対しては、表情や行動からくみとるようにしている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	本人がその日をどう過ごしたいか把握し、希望に添えるよう支援している。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	これまで着ていた洋服を持ち込んで頂いている。朝の着替えは、基本的には本人に選んでいただいている。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	自家菜園で収穫した野菜を食材に取り入れ、利用者の出来る範囲で食事の準備や後かたづけを行っている。	利用者は、一人ひとりの能力に合わせて食事の準備や後片付けをしている。 行事の際には、赤飯や刺身などの特別メニューを提供している。 デッキで芋煮会を行うなど、食事が楽しみなものになるように工夫している。 外出した際に喫茶店に立ち寄り、利用者がお茶や好みのケーキを楽しんでいる。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	摂取量は記録を付け、職員で情報の共有をしている。提供量や食事形態は利用者の状態をみて調節している。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	一人ひとりに合ったうがいや歯磨きの声掛けと介助を行っている。希望や状況によって歯科受診を行い、専門的意見を仰いでいる。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	尿意の訴えが無い方でもトイレの誘導を行い、出来る限りトイレで排泄が出来るよう支援している。	排泄チェック表に基づいて時間誘導することにより、トイレでの排泄に向けた支援をしている。 利用者の費用負担軽減も兼ねて、おむつやパッドの使用を減らすように努めている。	

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	排泄記録で把握している。自然な排便をうながせるよう、水分摂取、運動を心がけている。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	1日おきの入浴となっているが、利用者の希望で毎日入浴することも可能。入浴を拒否する利用者には声掛けを工夫して入浴ができるよう支援している。	男女交互に週3回の入浴となっているが、希望する場合には毎日の入浴も可能となっている。 基本的には午後2時から4時の入浴となっているが、状況に応じた入浴も可能となっている。 しょうぶ湯やゆず湯など、入浴が楽しみになるよう工夫している。 入浴を拒否する利用者に対しては、無理強いせずに清拭などで対応している。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	居室の誘導もご本人の意思に任せ就寝前の時間はゆったりと過ごせるよう支援している。睡眠時間、睡眠の状況も把握し日中の過ごし方に気をつけている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	個人ファイルに服薬している薬の情報も一緒に綴ってある。服薬介助の職員を固定して事故防止に努めている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	利用者それぞれの持てる機能の把握に努めている。個人に合った出来る範囲での作業をしていただいている。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	天気の良い日には、できるだけ外出ができるよう又、多くの方が参加できるように声掛けを行っている。	利用者は天候の許す限りほぼ毎日散歩し、恵まれた自然環境の中で四季の変化を楽しんでいる。 行事として予定していない場合でも、天気の良い日は利用者の意向にそってドライブを兼ねた菊祭り見物や外食、フラワーパークなどに気軽に出かけている。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	ご家族とご本人と話し合い、希望に添って所持出来るよう支援を行っている。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	電話、手紙の希望があれば支援している。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	清潔に過ごしやすいように配慮している。	リビングや廊下にソファを用意するとともに、利用者が横になれる小上がりの畳部屋を設けるなど、利用者がゆったりと過ごせるように工夫している。 外のウッドデッキにテーブルと椅子を配置し、外気浴をしながら利用者が休憩できるよう配慮している。 共有空間に季節の植物を置いたり、四季折々に変化する周囲の山々の眺めが楽しめる環境となっている。	

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	一人ひとりが、思い思いに過ごしていただけるようにしている。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室は、住み心地の良い部屋にし、好きな写真や絵、作品などを飾っている。	居室にぬいぐるみや人形、家族写真、位牌などを持ち込んでいるほか、昔収集した相撲のポスターを飾るなど、各利用者が思い思いの居室づくりをしている。 フローリングの上に、畳やカーペットを敷くなど、利用者の生活スタイルに合わせた部屋づくりをしている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	庭でレクリエーションをしたり、散歩や野菜の収穫をしたり楽しめるよう工夫している。		

V アウトカム項目		
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	1, ほぼ全ての利用者の ○ 2, 利用者の2/3くらいの 3, 利用者の1/3くらいの 4, ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○ 1, 毎日ある 2, 数日に1回程度ある 3, たまにある 4, ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目：36, 37)	1, ほぼ全ての利用者が ○ 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目：49)	1, ほぼ全ての利用者が ○ 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	1, ほぼ全ての利用者が ○ 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)	1, ほぼ全ての利用者が ○ 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	1, ほぼ全ての家族と ○ 2, 家族の2/3くらいと 3, 家族の1/3くらいと 4, ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	<input type="checkbox"/> 1, ほぼ毎日のように <input type="checkbox"/> 2, 数日に1回程度ある <input checked="" type="checkbox"/> 3, たまに <input type="checkbox"/> 4, ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	<input type="checkbox"/> 1, 大いに増えている <input checked="" type="checkbox"/> 2, 少しずつ増えている <input type="checkbox"/> 3, あまり増えていない <input type="checkbox"/> 4, 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	<input type="checkbox"/> 1, ほぼ全ての職員が <input checked="" type="checkbox"/> 2, 職員の2/3くらいが <input type="checkbox"/> 3, 職員の1/3くらいが <input type="checkbox"/> 4, ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	<input type="checkbox"/> 1, ほぼ全ての利用者が <input checked="" type="checkbox"/> 2, 利用者の2/3くらいが <input type="checkbox"/> 3, 利用者の1/3くらいが <input type="checkbox"/> 4, ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	<input type="checkbox"/> 1, ほぼ全ての家族等が <input checked="" type="checkbox"/> 2, 家族等の2/3くらいが <input type="checkbox"/> 3, 家族等の1/3くらいが <input type="checkbox"/> 4, ほとんどいない

(様式4)

目 標 達 成 計 画

事業所名 グループホーム ゆうもあ館

作成日 平成23年4月11日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目 標	目標達成に向けた具体的な取組み内容	目標達成に要する期間
1	3	運営推進委員会の議事録に具体的な発言内容の記載がない。	席上での発言内容を記録として残し、次の会議につなげていく。	サービス向上などに対する積極的な提言への働きかけを行う。発言内容を記録として残し、次の会議につなげていく。	H23年4/1～6/30迄
2	13	避難訓練の訓練結果を残す。	避難訓練の訓練結果を、記録として残す。	避難訓練で分かった反省を記録として残し、改善に向けた取り組みを行っていく。	H23年4/1～6/30迄
3	13	地域の消防団や近隣住民に災害時における協力体制や避難訓練への参加を働き掛けたい。	災害時に備え地域との協力体制築きたい。	地域の消防団に働きかけて、避難訓練を実施できるようにしていきたい。	H23年4/1～3/31迄
4	14	個人情報のファイルが鍵がかかる場所に、保管ができていない。	個人情報のファイルは、人目につかない鍵がかかる場所に保管する。	個人情報保護に関する研修を行い、個人情報の管理体制について話し合う。	H23年4/1～7/31迄
5					

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。